

豊間根小で大豆収穫体験 実りの秋に大きな収穫

食の大切さを学んでもらおうと11月7日、ゆたか農産やまだ(瀬川智宏代表)が主催する大豆収穫体験に豊間根小学校(富澤広子校長、児童124人)の3年生9人が参加しました。この日収穫した大豆は、今年6月に自分たちの手で種まきをしたものです。当日、児童らは殻から実を剥がす作業と唐箕を使って殻と実を選別する作業を体験し、計7キロの大豆を収穫。参加した芳賀久実加さんは、「おいしそうな大豆がたくさん採れてうれしいです。家族みんなで食べます」と満足気な表情でした。



みちのく潮風トレイルin山田 20人が船越半島の絶景を堪能

田の浜コミュニティセンターから牛轡峠うしろばしを通して荒神海水浴場を目指す「みちのく潮風トレイルin山田」が11月11日に開かれました。これは令和元年に全線開通したみちのく潮風トレイルを体験し、興味や関心を持ってもらおうと町が主催したもので、当日は町民など20人が参加。色づき始めた木々などに秋の深まりを感じながら約7キロの道のりに挑戦しました。約4時間かけて到着した荒神海水浴場では打ち寄せる波や海ならではの絶景を堪能。参加者は達成感から笑顔がこぼれていました。



2人が100歳を迎える



境田町の甲斐谷チヨ子さん 「3食しっかり」が元気の秘訣

11月1日に甲斐谷チヨ子さん(境田町)が100歳の誕生日を迎えられました。2日には佐藤町長が自宅を訪問し、「これからも元気で長生きしてください」と長寿を祝福し、賞状を手渡しました。甲斐谷さんは一関市藤沢町の生まれで5人きょうだいの長女として出生。昭和20年に漁業を営む旦那さんと結婚し、境田町へ嫁いできました。趣味は散歩で、今でも近所を元気に歩いているそうです。長寿の秘訣は、「好き嫌いせず3食しっかり食べること」と規則正しい食生活が元気の源になっているようです。



大沢地区の上澤ヨシさん 長寿の秘訣は「幸せを感じること」

11月20日に上澤ヨシさん(大沢)が100歳を迎えられました。大沢の中条地区に、12人きょうだいの11番目として生まれた上澤さんは20歳で結婚し、町内で教師を勤めていた旦那さんの仕事の関係で旧満州へ約3年間移住しました。「当時は戦時中で子育てをしながら夫を支えるのは大変でした」と振り返ります。現在は、4人の子どもと7人の孫、4人のひ孫に恵まれ、幼いひ孫たちの成長を見守っています。長寿の秘訣は「季節の海産物や果物を食べて、幸せを感じることで長寿の秘訣ですね」と話しました。



田のわだこ

今月の題字 吉川 ^{かよ}花陽さん（豊間根小1年）

芸術の秋を彩る町民芸術祭 華やかな作品や熱演が観衆を魅了

芸術の秋を彩る町民芸術祭が10月と11月に町中央公民館を主会場に開かれ、素晴らしい作品やパフォーマンスを華やかに披露、訪れた人たちの目を奪いました。11月11日、12日に行われた展示部門「アートフェスティバル」では「お茶会」も企画されたほか、日本画や書道、手芸作品など干点以上が並び、約1,300人が力作に足を止め見入っていました。舞台部門は、10月29日の「民謡と踊りの集い」を皮切りに、器楽、ピアノ、合唱と日ごろの文化活動の成果を大ホールで披露。出演者の熱演に盛んな拍手が送られていました。



ドイツのラインラント・プファルツ州 マル・ドライヤー首相が当町を訪問

10月27日、震災後に大沢保育園へ約3,600万円の義援金を贈った、ドイツのラインラント・プファルツ州からマル・ドライヤー首相が来町し、町役場や大沢保育園を訪れました。町役場では、佐藤町長から東日本大震災からの復興に至る状況を説明し、その後、2013年に義援金を活用し再建した大沢保育園に移動。園児たちが大沢八木節や合唱などを披露し歓迎しました。最後には、首相から園児らへ色鉛筆などのプレゼントが手渡され、子どもらはドイツ語で「ダンクシェーン」(訳：どうもありがとう)と笑顔で感謝の言葉を伝えていました。



轟木地区グラウンドゴルフ大会 難所に苦戦も笑顔でプレー

地域住民の交流を深めようと11月8日、教育振興運動轟木地区実践協議会の「わらびの会」(臼澤文男会長)が主催する第24回グラウンドゴルフ大会が、旧轟木小学校で開かれました。当日は、地域住民約50人が参加し、校舎周辺に設置された雑草や石などの障害物のある計16コースをプレー。参加者らは思うようにボールが進まず苦戦していましたが、励まし合いながらプレーを楽しんでいました。参加した佐藤奈那さん(山田小4年)は、「難しかったけど、地域の人たちと一緒に楽しめてよかったです」と笑顔を見せていました。

